

試合規約

すべての試合は、国際空手道連盟ルールに準ずるものとする。

【試合時間】

※一般部を除く全てのクラスの再延長はマストシステムとなります。

幼年・小学部 本戦1分30秒 延長1分 再延長1分

中・高・女子 本戦2分 延長2分 再延長2分→ 体重判定(3kg有効)

壮年部 本戦2分 延長2分 再延長2分→ 体重判定(5kg有効)

一般部 本戦2分 延長2分 再延長2分→ 体重判定(10kg有効)

※準決勝以降 一般部のみ本戦3分それ以外は上記の通りとなります

【勝 敗】

組手の勝者は「一本勝ち」「判定勝ち」「相手選手の失格・棄権」による勝ちによって判定されるものとする。

☆幼少年部の上段ひざ蹴りは、安全性考慮のため反則になります。

中学以上の上段ヒザ蹴りは「有効」となります。

一本勝ち 反則箇所を除き、突き・蹴り等でダメージで3秒以上立ち上がれない場合
戦意喪失・試合続行不可能と判断されたとき(但;高校生以上)

※幼少年部は試合のダメージにより泣いて試合続行不可能の場合
主審判断により一本となることもあります。

技あり 反則箇所を除き、突き・蹴り等のダメージで一時的に動きが止まる場合
又は一時的な戦意喪失もしくは大きく崩れた場合。

前蹴り・下段蹴り合わせ技で相手を綺麗に倒した場合もありうる。

幼少年部はノーガードでクリーンヒットした場合「技あり」となります。

幼少年部の場合、ガードの上から当たっても技ありとなりません。

また、蹴り技が「かすった」だけでも技ありとなりません。

判定勝ち 一本勝ち・失格のない場合、主審・副審のうち過半数の判定による。

判定基準「**技のダメージ**」「**技の有効打**」「**攻撃数**」の順で裁定する。

反 則 顔面殴打・金的・首喉への攻撃・頭突き・倒れている相手への攻撃
背後からの攻撃・掌底正拳での押し。つかみ、投げ、掛け逃げ、関節技
クリンチなど、その他審判が反則と見なした場合。

減点;失格 注意2回で減点1となり減点2で失格となる。

審判の指示に従わない場合。選手・セコンドの悪質な態度・粗暴な振る舞い。見合ったまま1分以上経過した場合。出場時刻に遅れたり出場しない場合等、減点・失格対象となる。

出場申込書記載事項等に誤りがある場合、失格となりうることもある。

※判定に対する抗議は一切認められない。

【防 具 & 着 衣】

①幼少年・中高・女子・壮年部は規定防具着用

※一般部はファールカップのみ着用。

②拳・スネサポーターは、布地のものを各自用意使用すること(幼少年中学生)

高校・女子・壮年は皮グローブ着用可能

③女子及び幼少年部の選手は、全学年任意でチェストガードを着用出来る

(各自、用意すること)但し、プラスチック製のものは使用出来ない。

④任意で着用出来るものは、下記の通り(各自、用意すること)

膝サポーター(出来る限り高学年以上は着用してください)

⑤テーピング類は大会医師の許可が必要。

⑥清潔な空手着を着用。男子は上着の中(シャツ等)の着衣は認めない。